

別記  
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和8年3月12日

コミュニティ名	未来へのコンパス
代表者所属名	京丹波町立瑞穂小学校
代表者職・氏名	教諭 岡田 佳樹

京都府若手教職員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

未来へのコンパス

2 研究テーマ

子どもの姿から子ども主体の教育を問い直す

3 研究の目的

- ・児童を学びの主体者にすることで確かな学力の向上をめざす。
- ・子どもの姿からこれまでの授業展開や家庭学習を見直すことで、子ども主体の教育の本質を見い出す。
- ・京丹波町小学校若手教職員のつながりや資質向上に資する。

4 研究の成果と課題

- ・京丹波町メソッド公開授業を活用し、他校の良い授業実践から学び合う機会をもつことで、京丹波町メソッドの理念や各校の研究と本研究をつなげて考えることができた。
- ・教職員のつながりをつくることで、若手教職員の悩みや課題を共有することができた。京丹波町全体で若手教職員を育てていこうという気持ちがミドルリーダーに育ってきている。
- ・小学校4校で日程調整を行うことが難しく、長期休業中の活動が中心となった。

## 5 研究成果の波及方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で学び合ったことを自校の実践に生かす。</li> <li>・自分の授業における問いを実践し、研究成果にまとめる。</li> </ul>
---

## 6 研究（活動）実績\*

年月	研究（活動）内容（具体的に記載）	活動場所
8月1日	・実践交流	竹野小学校
<p>メソッド研究会への参加</p> <p>○9月19日（金）福嶋教諭の国語の授業</p> <p>○10月31日（金）松村教諭の算数の授業</p> <p>○1月27日（火）蒲生野中学校の数学の授業</p> <p>※本来はメソッド委員を中心とした研究会だが、積極的に研究会への参加を呼びかけ互いに学び合った。</p>		
1月9日	・実践交流 テーマ「実践を共有しながら『「教育観』を問い直す。」	竹野小学校

## 7 予算執行状況

- (1) 旅費は、旅費執行状況報告書に記載のとおり
- (2) 図書については、受領書のとおり

## 8 他校へ勧めたい実践又は他校へ呼びかけたい共同研究（できるだけ具体的に）

テーマ	「自分らしいなど観じた瞬間」
育てたい資質能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら問いをもち学び続けようとする力</li> <li>・チームとして協働的に解決しようとする力</li> <li>・新たな教育改革に挑戦しようとする力</li> </ul>
実践又は研究の 具体的内容	<p>○実践交流</p> <p>①実践共有</p> <p>②問いづくり（みんなで考えたい問いを考える。）</p> <p>③哲学対話</p> <p>④これからの自身の授業についての問いをつくる。</p> <p>・若手の教職員が何に課題を感じたり困ったりしているのかを共有し、前向きに教育実践しようとする意欲につながるよう、哲学対話型の実践交流を行った。</p>